

吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 1 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

29 日に火山性微動を 2 回観測しました。微動の発生前後で、地震活動や表面現象に異常は認められませんでした。火山性地震はやや多い状態が続いています。
大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。
引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので、警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～200mで推移しており、特段の変化は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3～5）

29 日 04 時 56 分と 05 時 04 分に、継続時間がそれぞれ 2 分 34 秒と 1 分 09 秒の火山性微動を観測しました。火山性微動を観測したのは 2004 年 11 月 23 日以来です。微動の発生前後で地震活動に変化はなく、29 日午前中に福島県警察本部がヘリコプターにより上空から撮影した画像からは、新たな噴気や、地熱域の変化による融雪域の拡大等は確認されず、表面現象に異常は認められませんでした。

火山性地震は昨年 10 月以降、やや多い状態で推移しています。

・地殻変動の状況（図 6～7）

広域の GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

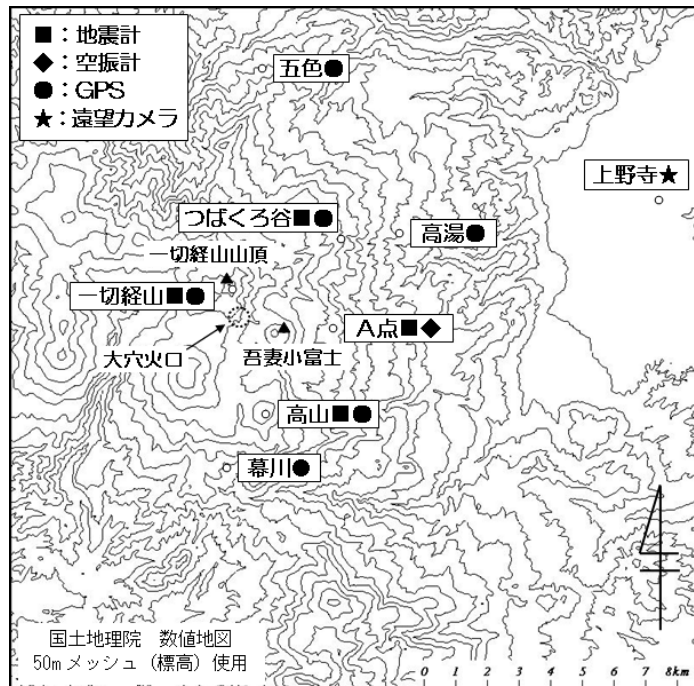


図 1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月分）は平成 22 年 3 月 9 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

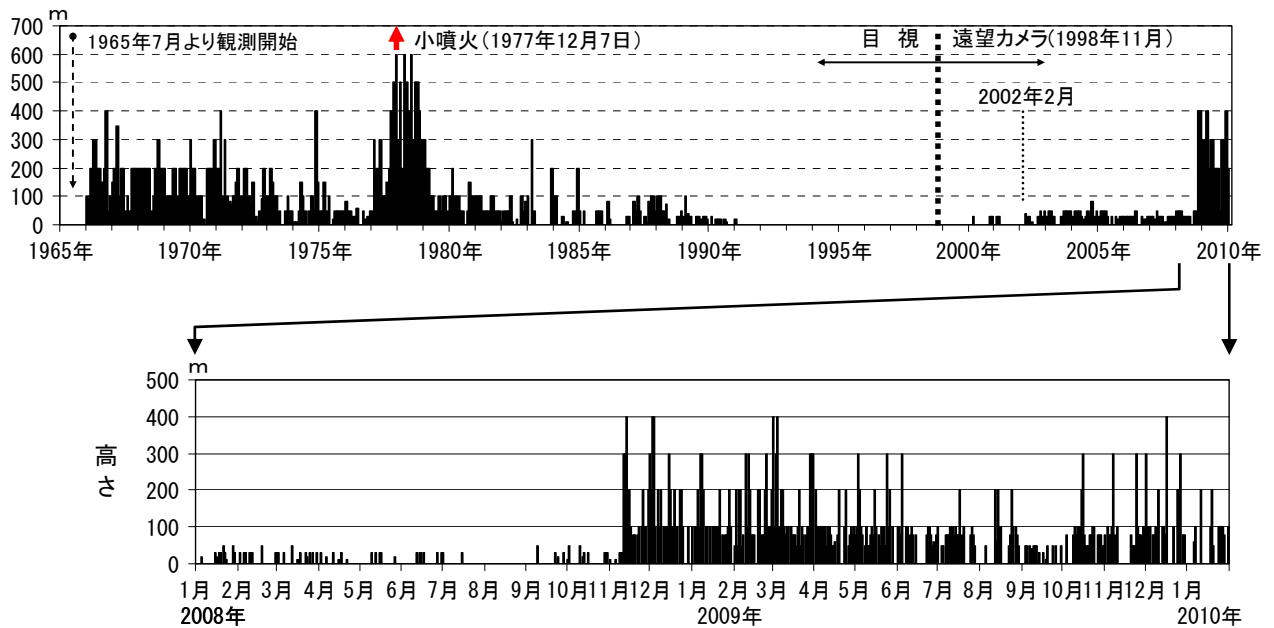


図2 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965 年 7 月～2010 年 1 月）

下段：日別最大噴気高（2008 年 1 月～2010 年 1 月）

1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。

1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。

2002 年 2 月以前は定時（09 時、15 時）及び随時観測による高さです。

2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。



図3 吾妻山 大穴火口周辺の地図



図4 吾妻山 上空からの可視画像 1 月 29 日 09 時 50 頃撮影（福島県警察本部による）

左図：一切経山付近（①の方向から撮影） 右図：大穴火口北壁（②の方向から撮影）

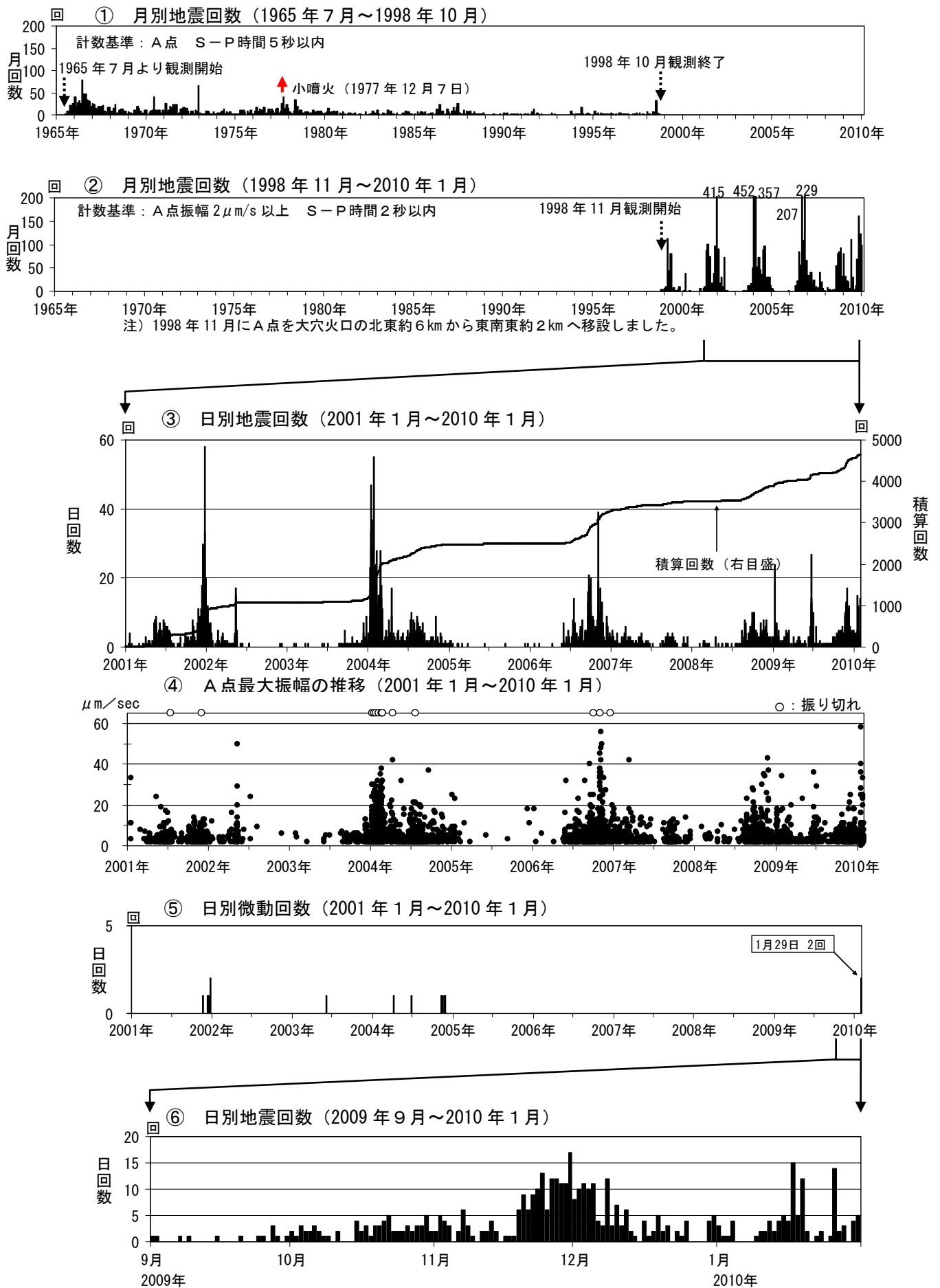


図 5 吾妻山 地震活動経過図

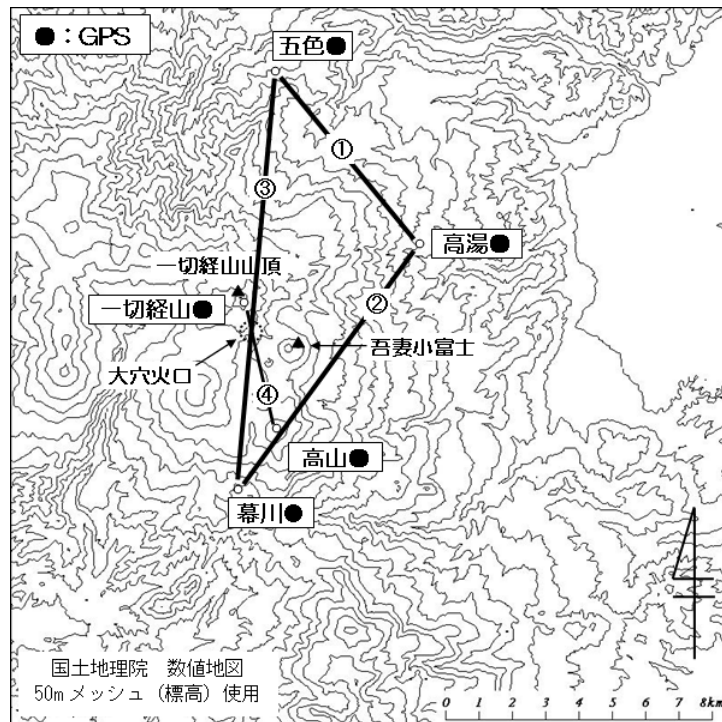


図 6 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図 7 の①～④に対応しています。

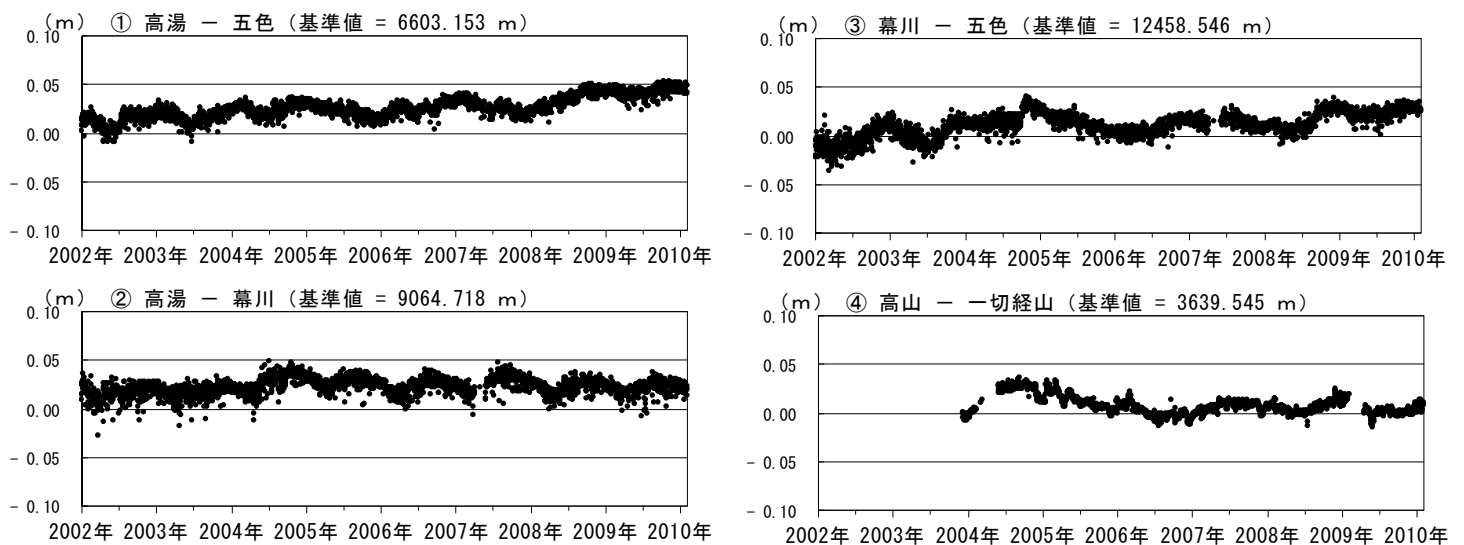


図 7 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2010 年 1 月）

①④は図 6 の GPS 基線①～④に対応しています。

幕川観測点と高山観測点が障害のため、一部に欠測があります。